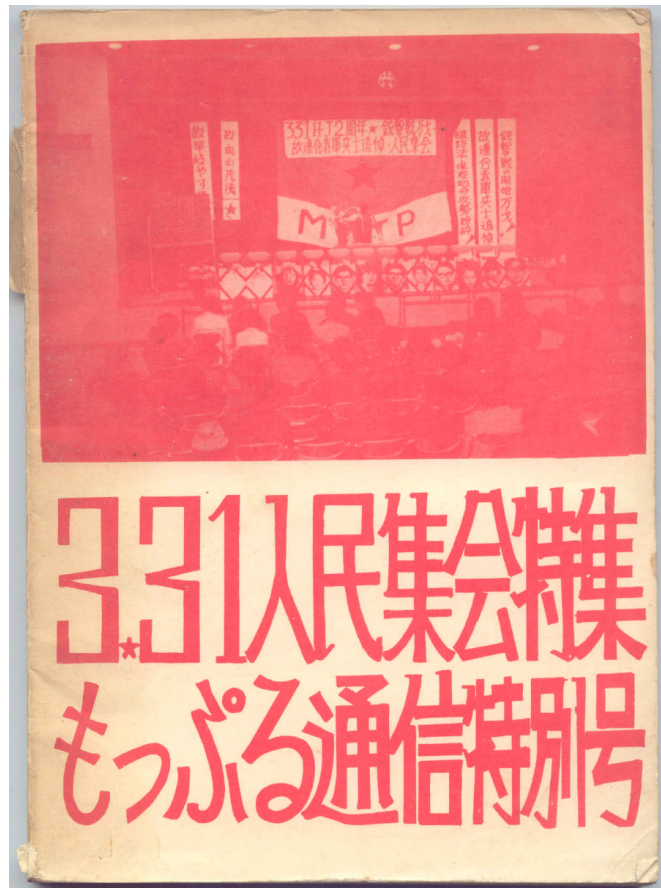


<目次>

- ★ 故連合赤軍兵士追悼文 ..... 2
- ★ 集会基調報告 (日本赤色救援会) ..... 4
- ★ 「連合赤軍公判対策委員会」  
就置入の呼びかけ ..... 14
- ★ 共同墓礎設立への呼びかけ ..... 17
- ★ 特別アポール (共産主義者同盟赤軍派) ..... 19  
同 (日本共産党・革命左派) ..... 25
- ★ 連帯の挨拶 (救援連絡センター世話人  
丸山昭雄) ..... 32
- ★ 獄中アポール (赤軍兵士・上野勝輝他) ..... 43
- ★ 各氏アポール ..... 76
- ★ 資料 (日本赤色救援会声明 その1, その2) ..... 89  
同 (日本赤色救援会で集約した  
獄中兵士の見解) ..... 94



# 故連合赤軍兵士追悼

本日この集会に集まられた全ての労働者、学生、市民の皆さん。  
 まず最初我々は熾烈な革命戦争をなすべくして葬られた故連合赤軍兵士諸君に対し心なす哀悼の意を表する。  
 日本帝国主義ブルジョアジーと連合赤軍の血みどろの攻防戦の中で、彼等連合赤軍の真紅の鉄槌はブルジョアジーを恐怖にたてさせ、ブルジョアジーを追いつめていった。とうとうあるが故に、その闘いは限りなき勇気を苦闘するプロレタリアート人民に与えた。追い込まれた敵ブルジョアジーは狂気の弾圧を連合赤軍を始めとした闘う人民にかけた。シラミつぶしのローラ作戦を行ない、各所に指名手配の写真を貼りめぐらしてモ気なすまなしいブルジョアジーはライフル部隊を登場させ闘う人民の肉体的抹殺を謀っている。更  
 破防法一保安処分をモってより徹底した弾圧をなけてきている。「革命は反革命を生み、革命はその反革命を打ち破りて成長する。」  
 我々は、これを文字通りこの向の闘いで克ち取ってきたし、今后も荒れ狂う反革命の嵐の中で、断  
 闘とした闘いをなすとげるであらう。

として我々は今、痛苦な自己批判的総括を展  
 せねばならない。その事は目的意識的の人民の  
 軍隊に対する具体的な支援を提起しつつも結果と  
 しては支援どころな支援声明を出すのがせりっ  
 ぱいであった我々の運動の不十分さを確認する事  
 である。人民の海の創出さ、それに向けた運動  
 を展開しつつも未だ登着できなない所で階級闘争  
 の中での要請されている具体的な支援に力及  
 ばずして悲劇的な結果として出た事に対し、  
 身を切る断腸の思いで自己批判する。  
 我々は信じる。連合赤軍兵士諸君は、最后ま  
 で革命戦争をより良い方向へ発展させようとした  
 事を。流された血に対し我々は答えねばな  
 ない。諸君等の魂は我々の中燃えている。  
 我々は必ず勝つ。見たい欲しい。そして、  
 我々は必ずやこの事を教訓化し自己批判を物質化  
 する。この事こそが死んでいった連合赤軍兵士  
 諸君に対する我々の弔辞である。